

個人山行

夏山トレーニング

地獄谷～荒地山

2022.8.11(木・祝)

<参加メンバー> 3人(男性2人、女性1人)

<天候> 晴れ

<コースタイム>

- 8:30 阪急芦屋川駅集合、岩登りセミナーチラシ配布
- 9:30 高座の滝 地獄谷から登山開始
- 9:50 蛙岩
- 11:00 ピラーロック
- 11:30 風吹岩(昼食)
- 12:15 荒地山
- 14:20 高座の滝 14:50 阪急芦屋川駅

<山行の概要>

山の日の祝日、夏山トレーニング、岩場歩き練習として地獄谷から六甲山頂を経て有馬へ下山が当初の計画だった。

気温の高い中、空からの日差しと地面からの照り返しでかなり暑さを感じ、風吹岩の陰で休めた時はほっとする。でも通りかかる登山者へ岩登りセミナーのチラシを渡すことは忘れないリーダー。その後、エスケープルートとして設定していた荒地山経由で下山とした。下山は一部バリエーションルートの枝をかき分け、現在地を確認しながら、体力気力を振り絞って進むことに。時間に余裕があり、地形的に危険ではない場所で「バリエーションになる」という貴重な体験が出来た。



1. 朝から上空でヘリがホバリング…山の事故ではありませんように。



2. 元気に地獄谷を遊行



3. 保護色？



4. 自家製梅ジュース、ごちそう様でした！



5. 逆層は慎重に登ります



6. トラン女子はこんな場所もほぼソールだけの様なサンダルで登っていきます



7. 谷から離れると暑さが増して



8. ますます暑く照り返しが



9. 暑すぎ。ピラーロックは砂漠



10. 荒地山から下山



11. このあと、岩梯子の東横を降りるつもりが、少し東にそれたルートを下りることになった。途中まではシダをかき分けつつ、踏み跡もあるのだが、明確ではない。登山道へ合流するため、急斜面を頑張って登るものの、筆者は体力不足を実感。合流した後はザックの上に仰向けに寝転がって休む有様。

「こんな時にはどう判断する？」のシミュレーションが出来て、充実した山行となった。